

第 159 回日本獣医学会学術集会 日本比較薬理学毒性学会拡大評議委員会議事録

開催日 平成 28 年 9 月 7 日 16 時 30 分～18 時

開催場所 日本大学 生物資源科学部 第 8 会場 (1 号館 3 階 133 講義室)

出席者：(帯広畜大；薬理) 石井、室井、(北大；薬理) 乙黒、山口、(北大；毒性) 石塚、(北里大；薬理) 山脇、岡田、(岩手大；薬理) 斉藤、(東京大；薬理) 尾崎、堀、梶、(東京農工大；薬理) 佐々木、(日獣医大；薬理) 金田、田島、(麻布大；薬理) 白井、(日本大；薬理) 齋藤、(岐阜大；薬理) 海野、松山、(大阪府立大；薬理) 竹内、中嶋、東、(大阪府立大；毒性) 西村、中川、(鳥取大；薬理) 太田、高橋、(山口大；薬理) 佐藤、(宮崎大；薬理) 池田、園田、(鹿児島大；薬理)、宮本、白石 [計 29 名]

(議 事 録)

1. 獣医学会が年 1 回の開催となったことに準じて、「日本比較薬理学・毒性学会会則」選考方法内規(平成 16 年 9 月 11 日改定)の一部改定について(資料①)討議され、承認された。
2. 日本比較薬理学毒性学会 会長として鳥取大学 獣医薬理学研究室 教授 太田利男先生が選出された。
3. 日本比較薬理学毒性学会 副会長には時期日本獣医学会学術集会主宰校である鹿児島大学から獣医薬理学研究室 教授 宮本篤先生が選出された。
4. 第 158 回日本比較薬理学毒性学会拡大評議員会議事録(案)が承認された。
5. 全国大学獣医学関係代表者協議会からの報告事項(第 104 回、第 105 回)
全国協議会会長の尾崎先生より概要の報告があった。特に、分野別第三者評価に関して大学基準協会が作成した原案の問題点、共通テキストの使用状況・教科書指定状況・電子化、H30-32 年を目処にしたコアカリキュラムの見直し(スリム化)、広報委員会からは資料のアーカイフ化、参加型臨床実習ガイドライン原案の作成、日本学術会議から「我が国の獣医学養育の現状と国際的通用性」に関する提言が H29 年度に出る予定、などの報告がなされた。
6. 国公立大学獣医学協議会からの報告事項(第 77 回、第 78 回)
全国協議会の報告に準ずる。
7. 日本私立獣医科大学協会からの報告事項(春、秋の 2 回分)
出席された先生がおらず報告なし。
8. 収支決算と決算報告ならびに予算計画(資料③)が事務局(堀)より説明され、佐々木先生(東京農工大)と金田先生(日本獣医生命科学大)の監査を経て承認された。
9. 第 160 回日本獣医学会学術集会(H29.9.13-15 鹿児島大学)企画シンポジウム案について、佐々木(東京農工大)、東(大阪府立大)の企画委員が中心となり予算申請に間に

合うよう企画することとなった。

- 1 0. 「獣医臨床薬理学」講義開講情報とコアカリ準拠共用テキストの編集状況第
8割以上の大学で獣医臨床薬理学の講義が開講。コアカリ準拠共通テキストについては近代出版より H29 年 4 月には刊行される予定。
- 1 1. 日本比較薬理学毒性学会所属の評議員推薦について改めて依頼がされた。また、
岩手大学家畜薬理学教室教授 佐藤洋先生が新たに評議員に着任された。
- 1 2. 新任・昇格教員の紹介 (H27.9 月以降の異動・着任について)
東京大学獣医薬理学研究室 助教 梶 典幸先生
- 1 3. 次回は 160 回日本獣医学会学術集会 (H29.9.13-15 鹿児島大学主宰) 開催期間中に
開催予定。